

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第 43 号

市民公開講座

2018 年 9 月 1 日(土)
秋田大学本道記念講堂

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターと緩和ケアセンターが共催し、市民公開講座「がんと向き合うために～住み慣れた家で、自分らしく過ごそう～」を開催しました。

今回は、病気になっても、住み慣れた家で、自分らしく過ごすために、病院と地域ではどのように連携しているのか、包括支援センター相談員、退院調整看護師、訪問看護師、訪問診療医師に焦点を当て、その役割と活動等について、市民の方々に周知し、理解を深めてもらうことを目的としました。当日は、約 50 名の市民の皆さんが参加されました。

はじめに、東通包括支援センターの田村克子保健師からは「知って役立てよう！包括支援センター」というテーマで、包括支援センターの役割と地域の高齢者の総合相談窓口としての業務について、多くの相談内容を基にご紹介いただきました。次に、当センターの熊澤祐子退院調整看護師が

「病院から在宅へつなぐ支援」のテーマで、現在、病院で行なっている退院支援・退院調整について、事例を基に説明しました。

外旭川訪問看護ステーションの赤木郁子が看護専門看護師からは「訪問看護師の役割と活動」というテーマで、療養上の世話、看取りのケア、医療処置等についてお話があり、「『がんになっても最期まで住み慣れた家で自分らしく過ごしたい』を支えたい！」という訪問看護師の思いを実現するために、日々活動していることをご紹介いただきました。

最後に、秋田往診クリニック市原利晃医師からは「在宅医療の現状」というテーマでお話がありました。在宅医療とは住み慣れた場所で生活できるように医療的に支援することであり、病院での「治す医療」に加え、在宅医療による「支える医療」が充実することにより、患者さんの QOL が改善されることが述べられました。



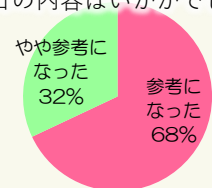
廣川誠センター長

東通包括支援センター
田村克子保健師当センター
熊澤祐子
退院調整看護師外旭川訪問看護ステーション
赤木郁子
がん看護専門看護師秋田往診クリニック
市原利晃医師緩和ケアセンター
伊藤真弓
ジェネラルマネージャ

市民公開講座終了後のアンケート集計結果の一部をご紹介します。

Q：本日の内容はいかがでしたか？

- ・「よく耳にする言葉でも、実際の仕事内容がわからなかったので、とても役立ちました。」
- ・「在宅での療養を支えるためのそれぞれの職種や役目や関わり方について学ぶことができました。事例紹介があったのでとても参考になりました。」
- ・「生きるために自宅に帰る。「家」学療法、とても感銘を受けました。」



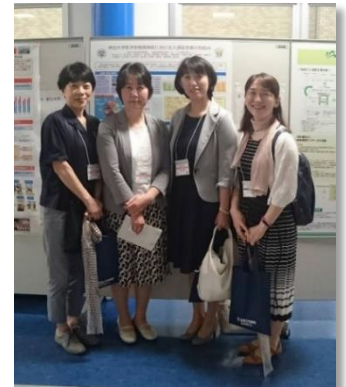
等、たくさんのご意見をいただきました。

今回の市民公開講座を通じて、病気になっても、住み慣れた家で、自分らしく過ごすために、病院と地域の連携と役割、活動について、理解を深めてもらうことができました。病気になっても、その人らしく歩んでもらうために、地域連携の充実と多職種連携の重要性についてあらためて学ぶことのできた市民公開講座でした。

第15回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

7月6日(金)～7日(土) 徳島大学

7/6、7、「地域に寄り添う大学病院」というテーマのもと、徳島大学で開催されました。全国42大学から医師・看護師・MSW・心理士・事務職等、200名以上の参加がありました。当院からは、廣川誠センター長、山田綾子副看護部長、田口弘美副看護師長、小川江美主任MSW、秋山副センター長の5名が参加しました。今回のポスターセッションのテーマは、平成30年度診療報酬改定を踏まえ「入退院支援の取り組み」でした。現在、各大学で行われている入退院支援についての現状や課題、新たな取り組み等について発表がありました。たくさんの意見交換がなされ、非常に多くの刺激を受けた2日間でした。当院では課題が山積していますが、現状分析をきちんと行い、業務改善に取り組み、センター改革を図りながら、一歩ずつ前進していきたいと思っております。



第10回 秋田竿燈祭り市民パレード参加

8月6日(月) 竿燈大通り

8/6、秋田県がん診療連携協議会がん患者相談部会のがん相談員が、おそろいのオレンジTシャツを着て、パレードに参加しました。がん相談支援センターをPRするために用意した風船、ポケットティッシュは、大人気で、あっという間になくなりました。

多くの観光客や市民の皆さんに、がん相談支援センターを知ってもらうとても良い機会となりました。



お知らせ

ひだまり教室

- ～市民向け～ 14:00～15:00 院内図書室前にて
- ・10月4日(木)「治療による外見の変化への支援について」
 - ・12月13日(木)「在宅医療・在宅療養について」
 - ・2月14日(木)「がん患者の就労・両立支援について」

- ～医療者向け～ 17:30～18:30 病院大会議室にて
- ・10月4日(木)「退院支援における意思決定支援について」
 - ・12月6日(木)「退院支援に必要なアセスメントと多職種連携について」
 - ・2月14日(木)「両立支援について」

秋田県がんと就労シンポジウム2018

10月5日(金) 13:30～15:30 秋田大学本道記念講堂

- ▼ 記念講演
秋田テレビ株式会社 代表取締役社長 石塚 真人氏
～ジャーナリストとしての経験や事業主という立場から
がん就労・仕事と治療の両立についてお話いただきます～
- ▼ 医療機関の取り組みについて
- ▼ 患者さんからの声 ▼ シンポジウム

ニューフェイス紹介

溝淵真梨 MSW

溝淵真梨と申します。
6月から入職しました。
主に、第一病棟8階を担当します。
患者さん、ご家族の生活や思いに目を向けて、
患者さんに寄り添った支援を心掛けたいと思
います。
どうぞよろしくお願いたします。

